



ロータリー理解月間

Governor's Message

職業奉仕こそロータリー活動の本来の姿

国際ロータリー第2750地区 2011-12年度 ガバナー 片倉 章雄



新年 明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、佳き新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

前半の大きな行事である公式訪問が、12月のPBグループをもって無事終了しました。

バネルジーRI会長のお考えを中心に様々なこととお話しさせていただき、またそれぞれのクラブの活動などを報告していただきました。

皆さんのロータリーの活動に対する心遣いや熱い想いに感激すると同時に、私自身も身の引き締まる思いでした。

2月23日(木)には地区大会が開催されますので、また皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

本年度の大会のテーマは「美しい日本のため、心をつなぎ、祈り、そして行動しよう」です。世界的な建築家であり、東日本大震災復興構想会議議長代理を務める安藤忠雄さんに記念講演をお願いしておりますし、人間国宝の鳥羽屋里長さんと堅田喜三久さんに「勸進帳」の長唄をご披露いただく予定です。そして地区大会は、第2750地区

のすべてのロータリアンのための年に一度の大会です。ぜひ、一人でも多くの皆さんにご参加いただき、大会を盛り上げていただきたいと思いますので、よろしくご協力ください。

さて、1月はロータリー理解月間でもあります。特に本年度は地区強調事項として、職業奉仕の理念を基盤として五大奉仕活動の推進を取り上げています。職業奉仕を重点的に取り上げた理由は、それがロータリー活動の本来の姿であり、中心となるべき理念だからです。私たちは職業人として、そしてビジネス界のリーダーとして、各自の技術や専門的知識を提供することによって、関わった人々に意欲と感動を与え、人々の生活の改善、世界理解、親善、平和を推進していくことが大切です。五大奉仕は言うまでもなく、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、新世代活動ですが、昨今の社会状況を考えますと、どの奉仕も確実に実践していくことが大事であろうと思います。

直前RI理事の黒田正宏さんが、このほど職業奉仕推進委員長に就任されました。国際ロータリーの活動が本来の姿に戻ったように感じているのは私だけではないと思います。

INDEX ※ [3]～[12] は、地区ホームページ(Web)上に掲載しております。

<http://www.ri2750.org/>

- | | | |
|--|-------------------------------|---------------------------|
| 1 ガバナーメッセージ | 5 京浜グループ 活動通信 | 10 奉仕プログラム委員会 活動通信 |
| 2 奉仕プログラム委員会の半年を総括して
地区大会の告知 | 6 山の手西グループ 活動通信 | 11 広報委員会 活動通信 |
| 3 地区行事日程 | 7 多摩中グループ 活動通信 | 12 米山記念奨学委員会 活動通信 |
| 4 銀座・日本橋グループ 活動通信 | 8 多摩東グループ 活動通信(武蔵府中RC) | 13 寄付報告／文庫通信／物故 |
| | 9 多摩東グループ 活動通信(調布RC) | 14 出席報告／編集後記 |

奉仕プログラム委員会の半年を総括して

奉仕プログラム委員会 委員長 福井 衛 (東京武蔵府中RC)



新しい年が明けました。2012年がロータリアンそして日本にとって希望に満ちた年になりますよう心からお祈り申し上げます。

ご高承の通り、当委員会は五大奉仕のうちクラブ奉仕を除く奉仕部門を担当しております。

地区組織では4部門委員会、10小委員会の合計14委員会で構成され、地区出向者も50名を越える大所帯であり、各委員会の本年度活動計画につきましては各委員長のご尽力により概ね所期の予定通り順調に推移しております。限られた紙面では全ての委員会活動を総括するのは無理ですので、ここでは本年度(上半期)の特筆すべき点のみを記述させていただきます。

まず職業奉仕部門では、千代田グループならびに銀座・日本橋グループの合同IMおよび多摩東グループのIMでメインテーマに職業奉仕を取上げて頂きました。

次に社会奉仕部門では、地域社会奉仕委員会が地区親睦活動委員会のご協力を仰ぎ「地域社会奉仕レポート」を毎月発行しております。環境保全委員会は本年5月のバンコク世界大会でブースを出展すべく入念な準備を進めております。

国際奉仕委員会部門では、第11回日韓親善会議が東日本大震災の影響で2012年に延期されるとともに韓国第3650地区との短期青少年交換は当初の夏休み実施が冬休みに変更されました。

新世代委員会部門では、青少年交換の来日学生が震災ならびに福島原発の影響で当初予定8名が4名となり、あとの4名は来年度に先送りになりました。来日学生の受入クラブには経済的ご負担に加えホストファミリーの確保など色々なご苦勞をお掛けしておりますが、このプログラムが実りあるものとなりますよう、今後とも何卒ご協力賜りますようお願い申し上げます。

奉仕プログラム委員会では、全ての委員会が「クラブあつての地区」をモットーに活動して参りますので、下半期も引き続きご支援くださいますようお願い申し上げます。

美しい日本のため、
心をつなぎ、祈り、
そして行動しよう

2011-12年度
国際ロータリー第2750地区
地区大会

2012年2月22日(水) 歓迎会・会長幹事会
会場：ザ・プリンス パークタワー東京

2012年2月23日(木) 本会議・懇親会
会場：ザ・プリンス パークタワー東京

ホスト・クラブ 東京日本橋ロータリー・クラブ

地区大会プログラム

2/22(水) 第一日 歓迎会・会長幹事会

- 12:00 PBG、RI 第3650地区(韓国) 歓迎屋食会
- 13:00 決議・選挙人・信任状・登録各種委員会
- 14:00~ 会長・幹事会
- 17:00 (復興支援・会員基盤強化)
- 18:00 RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

2/23(木) 第二日 本会議・懇親会

- 8:30 登録受付
- 9:00 開会点鐘
- 地区内クラブ紹介
- ガバナー挨拶・報告
- RI会長代理挨拶・報告
- 12:00 屋食
- 13:00 記念講演「勸進帳」
人間国宝 鳥羽屋里長氏
人間国宝 堅田喜三久氏
- 記念講演「戦略なき日本」
建築家 安藤忠雄氏
- 16:15 大会決議採択
RI会長代理講評
- 17:00 閉会点鐘
- 17:30 懇親会
ザ・プリンスパークタワー東京「ボールルーム」

記念講演

安藤忠雄氏

大阪生まれ。独学で建築を学び、1969年に安藤忠雄建築研究所を設立。
代表作に「六甲の集合住宅」「光の教会」「地中美術館」「フンタ・デラ・ドガナ」「21-21 DESIGN SIGHT」など。
79年「住吉の長屋」で日本建築学会賞をスタートに国内外の受賞多数。10年文化勲章。



97年より東京大学教授。03年より名誉教授。
著書に『建築を語る』『連続連続』『建築家 安藤忠雄』など。

記念公演

鳥羽屋里長氏

歌舞伎長唄・唄方・重要無形文化財保持者(人間国宝)。
1936年東京日本橋生まれ、慶大経済学部卒、現在年間を通じ、歌舞伎公演に出演。
役職 社団法人長唄協会会長、歌音協理理事長。
賞歴 文化庁芸術祭優秀賞、伝統文化ボーラ賞優秀賞、新宿区名誉区民認定、旭日小綬章。



堅田喜三久氏

囃子方・重要無形文化財保持者(人間国宝)。
1935年東京市谷本村町生まれ。
役職 社団法人長唄協会副会長。
賞歴 芸術選奨文部大臣新人賞・同文部大臣賞、松尾芸能賞、紫綬褒章、旭日小綬章。



2011-12年度 地区行事日程 (1月-2月-3月)

1月 3日 (火) 18:00 ~	日韓短期青少年交換さよならパーティー	目黒雅叙園
1月12日 (木)	2012-13 国際協議会社行会	目黒雅叙園
1月14日 (土) 12:45 ~ 16:00	東京八王子北RC NEW YEARふれ愛コンサート(助け合う友の和!)	オリンパスホール
1月14日 (土) 15:00 ~	RYLArian 勉強会	カスピタ!新橋
1月15日 (日) 14:00 ~ 16:30	2012-13年 派遣候補生派遣国決定通知書授与式並びに青少年交換新年懇親会	国立オリンピック記念青少年総合センター
1月15日 (日) ~20日(土)	2012年 国際協議会	カリフォルニア州 サンディエゴ
1月17日 (火) 18:00 ~	2011-12 第5回 多摩東グループ協議会	未定
1月20日 (金) 15:00 ~ 17:00	第7回 復興支援地区委員会	三基商事(株)東京支店第2ビル
2月 2日 (木)	RLI PartII	国立オリンピック記念青少年総合センター
2月 5日 (日) 10:00 ~ 17:00	全国RYLA研究会	新高輪プリンスホテル
2月 8日 (水) 16:00 ~ 20:00	米山奨学生 期間終了式ならびに歓送会	京王プラザホテル新宿
2月13日 (月)	2012-13 地区チーム研修セミナー	目黒雅叙園
2月21日 (火) 15:00 ~ 17:00	第8回 復興支援地区委員会	三基商事(株)東京支店第2ビル
2月22日 (水) 16:30 ~ 18:00	第2回 クラブ会長・幹事会	ザ・プリンスパークタワー東京
2月22日 (水)	2011-12 地区大会	ザ・プリンスパークタワー東京
2月23日 (木)	2011-12 地区大会	ザ・プリンスパークタワー東京
2月27日 (月) 19:00 ~	東京高輪RC チャリティコンサート	ぎゅりあん 小ホール 品川区総合区民会館
2月28日 (火) 18:30 ~ 20:00	東京恵比寿RC チャリティコンサート	恵比寿ガーデンプレイス内 ザ・ガーデン・ルーム
3月 1日 (木)	2012-13 会長エレクト研修セミナー(PETS)	目黒雅叙園
3月 2日 (金)	2012-13 会長エレクト研修セミナー(PETS)	目黒雅叙園
3月17日 (土) ~20日(火)	青少年交換スプリングキャンプ	広島・京都方面
3月21日 (水) 15:00 ~ 17:00	第9回 復興支援地区委員会	三基商事(株)東京支店第2ビル
3月22日 (木)	東京中央RC 創立25周年記念式典・祝賀会	帝国ホテル
3月28日 (水) 午後	東京府中RC 創立50周年記念式典・祝賀会	府中の森芸術劇場

※上記の地区行事日程は変更する場合がございます。予め事前にご確認の上、ご参加下さい。 ★青文字は佐久間年度の行事予定です。

銀座・日本橋グループ 活動通信

銀座・日本橋グループの活動

東京日本橋RC 会長 浅野 純次

日本橋地区の4クラブはかねて緊密な関係にあります。東日本大震災支援プロジェクトでも緊密な連携を保ち支援第一弾を実現させました。以前、東京日本橋東ロータリー・クラブへ福島南ロータリー・クラブの会員が大挙メークアップに来られた縁から、支援先と支援内容について日本橋東RCから福島南RCに対して助言を求め、それに基づき3社会福祉法人へ車椅子搭載可能車両を贈呈することができました。この間の調整、財団等への資金申請、車両の調達などで日本橋東RCの小川会長、石山幹事のご苦労は大変なものでありました。

日本橋4クラブの呼吸が合ったことも大きかったと思いますが、12月15日に福島市で贈呈式が行われ、日本橋4クラブからは8人が、地元からは福島南RCの高橋会長や3社会福祉法人のトップなど多数が参加しました。

白河市と西郷村で知的障害者のための更正施設、授産施設を運営している福祉法人の各理事長からは、地震で建物が大きな被害を受けたうえに、障害者のための送迎車両がいずれも走行12～18万キロと老朽化して困っていたところだったので、今回の寄贈は本当にありがたいと、失礼ながら朴訥とした、感動的な挨拶をいただきました。

贈呈した3台の前で8人そろって記念撮影したのですが、車体にはロータリーのマークと4クラブの名前が大きく書き込まれていて、これらの車がこれから10万キロ、12万キロと走り回ってくれるのかと思うと、支援できてよかったという思いが強まり、皆で「贈呈式に来てよかったね」と感想を述べ合いました。今後も物だけでなく、癒しなど心の支援でも4クラブで取り組んでいければと、帰路、新幹線の中で話し合った次第です。



次に、千代田、銀座・日本橋グループ共催IMでの「職業奉仕シンポジウム」について一言せよとの示唆がありましたので、感想を述べてみます。「職業奉仕」とは何かという点では多くのロータリアンが難しいと感じているという現実を受け、久方ぶりのIMで取り上げる試みはたいへん貴重なものだったと思われます。

私もパネリストの一人として参加させてもらいましたが、基調講演講師、パネリスト、主催関係者が一堂に介して事前打ち合わせをするなど準備も怠りなく、関係各位にはご苦労様でしたと申し上げます。とはいえ、職業奉仕は奉仕活動の中でも(私の印象では)一番の難物で、参加者がこれで明快に理解できたわけでもなかったように思われました。

もちろん、これ一回で結論が出るはずもなく、機会をみてのさらなるIMによって職業奉仕を(各クラブ、年に一回の職業奉仕イベントで終わらせることなく)メンバー各自が日常的に意識できるようになっていけばという気がしています。シンポジウムについては、職業奉仕の理論編と実際編とに峻別して議論するのも一案かという気もしました。

最後に当クラブとしての個別の話になりますが、今年度、会長を拝命して以来のクラブとしてのささやかな取り組みを二、三ご紹介いたします。一つはROSTERですが、以下のような改変を加えてみました。①名簿をこれまでのABC順からあいいうえお順に変更し、②年間の例会・行事日程、奉仕事業・継続事業の概略、同好会一覧(幹事名も)、プロバスクラブ・レディースサークルの紹介を新たに収録し、③紙質を変更し、④発行日を年度初めの7月とした、などです。各種情報がROSTERに収録されていて各自が参照できるのは親睦を深めるためにも大事ななことかと思われます。

そのほか例会の持ち方として、①できるだけ議事をスムーズに行い会員同士の会話の時間を増やす、②新入会員は数ヵ月ほどいわば若葉マークのテーブルに着席し紹介会員やSAAが助言しかつ会話を盛り上げる、③テーブルが固定しないよう着席方法を折々企画する、④前年度から始まった古参会員によるイニシエ(古)スピーチを時折行って当クラブの歴史を知る、などを心掛けています。

京浜グループ 活動通信

ミクロネシア連邦チューク州 机・椅子の寄贈プロジェクト

東京田園調布緑RC 会長 徳山 秀男

このプロジェクトは2006年3月にチューク州(トラック諸島)のザビエル高校へコンポストトイレの寄贈、そして2010年2月に州立病院へ焼却炉の寄贈に続く、チューク州向け3回目の寄贈プロジェクトであり「東京田園調布緑RCの20周年記念事業」でもあります。今回を含め、いずれも現地の要望に応えるかたちで計画・実施したプロジェクト(PJ)です。今回は前年度の焼却炉寄贈のお礼にとミクロネシア連邦のジョン・フリッツ駐日大使が、我が東京田園調布緑RCの例会にご参加戴いた時の卓話を参考に計画したものです。このPJの実施にあたり特に東京羽田RCの岩田直幸様には、多大なご支援・ご協力戴きましたことに深く感謝するとともに篤く御礼申し上げます。

寄贈PJの詳細については次ぎのような内容でした。

1. プロジェクト資金総額 1,081,395 円

2. 協力クラブ

・東京羽田RC、東京大森RC、東京田園調布RC、東京蒲田RC

3. 寄 贈 品

・机・椅子(200組)、台付ミシン(18台)、ポータブルミシン(5台)
そのほかテニスラケット・軟式テニスボール等寄贈品は青山にあった赤坂高校が廃校になるとのことで、東京羽田RCの岩田会員と我が東京田園調布緑RCの中村直前会長、瀬戸前幹事が学校側に事情を話して快く譲って戴きました。

4. 実施日程

- ・2011年 6月初旬 協力クラブ4クラブへPJの参加を呼びかけ
- ・同 年 7月下旬 DSG申請書をRI財団地区補助金委員会送付
- ・同 年 8月中旬 同上申請が承認される
- ・同 年 8月中旬 承認後、5クラブ名記載のシール作成、搬出、船積み開始

- ・同 年 8月下旬 出港、現地到着
- ・同 年 9月初旬 寄贈品の現地配送・据付けをCWCが中心となって実施
- ・同 年 10月11～15日 東京田園調布緑RCの板敷会員が確認の為現地を訪問、エマニエル・モリ大統領と会見、大歓迎を受け帰国
- ・同 年 11月15日 在日大使館を訪れジョン・フリッツ駐日大使に報告
- ・同 年 11月16日 ガバナー事務所へDSGプロジェクト完了報告書提出

5. 現地配送・据え付け

- ・机、椅子等はエート小学校とファイチューク地区及び南ノモネアス地区の小学校計6校へ、そして北ノモネアス地区の小学校へも送られました。
- ・またミシンは大変な人気でこの内15台が今回の寄贈PJの相手方窓口であるCWC(チューク婦人会)の教育研修施設で使われ、残りはUFO婦人協会、サプーク聖書教会等の7箇所の婦人協会に1台ずつ配布されました。

6. PJ 実施中の会員活動

- ・搬出作業には我が東京田園調布緑RCと協力クラブの4クラブからも皆さんが駆けつけていただき、寄贈品にRI標章を中央にして日本とミクロネシア連邦の国旗、そして5クラブ名を記載したシールを1点毎に貼り付ける作業を行った。
- ・校舎内教室からトラックにて搬出可能な場所まで寄贈品を移動し、搬出に備えた。
- ・搬出当日は協力クラブ会員も立会のもと保管場所へ寄贈品を搬出。
- ・後日談として現地滞在中にCWCが教育研修と活動の為、多目的ホールを建設中であり竣工も間近と聞き「壁掛け時計」をミクロネシア駐日大使館を通じて寄贈した。



東京高輪RCの復興支援活動

東京高輪RC 幹事 愛知 とし子

東京高輪RCでは、復興支援の活動に力を入れております。東京城南RCと共に南気仙沼小学校へ映像システム寄贈のプロジェクトへの参加、緊急時避難準備区域内(20～30キロ圏内)にある南相馬市の「よつば保育園」の子どもたちへ「防護マスク」の寄贈などをしております。そして、2012年2月27日(月)には、「東日本大震災復興支援チャリティーコンサート」を「きゅりあん(品川区総合区民会館)小ホール」にて開催いたします。未来のある子どもたちに支援をしたいという思いから、集まった収益金で、子どもたちがより安全なお水が飲めるよう、放射性物質(水道水に含まれるヨウ素・セシウム等)ができる限り除去できる浄水器を購入し、南相馬市を中心とした各幼稚園・保育園・託児所など子供がいる施設にお届けする予定です。今回は、京浜グループをはじめとする他クラブ、「子どもと未来をつなぐ会」や南相馬市にある原町中央産婦人科医院、よつば保育園などの沢山の方々のご協力のもと、開催させていただきます。

山の手西グループ 活動通信

山の手西グループ IM 開催報告

山の手西グループ幹事 太田 恒久（東京世田谷中央RC）

2011年11月2日、「国際交流と奉仕の在り方」のテーマの下で第2750地区山の手西グループのインターシティ・ミーティングが開催されました。山の手西グループ内11クラブ196人、第2750地区から41人、地区外から8人のほか、米山奨学生11人の合計256人の出席者数となり、思いもかけず多くの方々にご参加いただきました。当日は開会までの間、ウェルカムドリンクとして世界12か国14種類のお茶がサービスされ多くの方々に珍しい飲み物を楽しんでいただきましたが、東京米山友愛ロータリ・クラブのロータリアンや米山奨学生の諸君が給仕にあたるなど開会前からテーマに相応しい国際色溢れるものとなりました。

また基調講演は、米山記念奨学会中国学友会会長で弁護士をされている姫軍(ジ・ジュン)氏からお話し頂きましたが、日本留学後にアメリカにも留学した経験等を踏まえ、さらには尖閣諸島という微妙な問題にも触れながら国際交流は国と国ではなく人と人との交流であることを強調されるなど、大変感銘深い講演でした。その後は食事をしながら親睦を深めつつテーブル毎に国際交流についての話し合いがもたれ(この席では9か国9種類のお酒が追加されました。)、最後は「手にてつないで」を合唱し閉会となりました。



山の手西グループ関博子ガバナー補佐



於：ホテルニューオータニ「鳳凰」

山の手西グループ IMの基調講演を聞いて

東京米山友愛RC 会長 林 芳



先日開催の山の手西グループのIMにて基調講演者として私の尊敬すべき学友の一人でもある姫軍氏が来日しました。北京大学卒業後、ハーバード大学法学院に進学する間、東京大学にて法学修士を取得され1995年から2年間米山記念奨学生として東京臨海RCを通じて支援を受けました。この経験が現在国際弁護士として活躍する傍ら、公私ともに民間の親善大使として日中の懸け橋になる言動力に繋がったと彼は申しております。日本のロータリアンから受けたご恩を忘れ難く思い続け、社会人として成功した今、皆様ロータリアンと同じ志にて米山記念奨学会に毎年50万円を寄贈しております。彼が講演の中で伝えたかった言葉「日中関係は国レベルの問題ではなく、民間、我々一人一人の心の問題である。民間の親善大使を育成する目的で設立された米山記念奨学事業制度こそがそれを実証する素晴らしいものであり、これからの将来のために本制度の継続を望んでやまない。この『国際交流と奉仕』を改めて考え実践することは必ず皆にとっての財産になるだけでなく、国家、そして日本国民の財産になると信じております。」と彼は情熱をもって我々に雄弁に語ってくれました。私自身ロータリアンの皆様がどのような気持ちで世界の留学生を育て、何を伝えたかったのかを思い返し、日本と母国の絆を細い糸から決して切れることのない綱とするために、自ら何ができるか、行動で示していきたいと改めて決意しました。



多摩中グループ 活動通信

海外に子ども用車椅子を送る事業

東京昭島中央RC 会長 佐藤 義弘

我がクラブでは2008年度、NPO法人の協力により創立20周年記念事業として海外の肢体不自由な子供たちへ不要になった日本の子供用車椅子を洗浄し、タイヤチューブの取換え、部品の交換等の整備をしてパラグアイに80台、マレーシアに117台を寄贈しました。記念式典では、パラグアイ共和国特命全権大使、田岡功氏をお招きし、講演をしていただきました。時の内藤会長ご夫妻、村野実行委員長がマレーシアまで贈呈式に行っていました。ラジオや読売新聞で報道されるなど、20周年記念事業として我がクラブの歴史に残る事業と言えます。車椅子が高価で買えないために家の中から出られず、外界と没交渉の子供たちが世界中に沢山います。

以来、2009年度、パラグアイへ80台、2010年度もパラグアイへ120台を寄贈し、2011年度はカンボジア王国へ80台を寄贈する予定で活動しております。

作業は、福生市熊川の自動車整備工場で9月、10月、11月の第3日曜日に行い、カンボジア王国へ送る80台の整備が終了し、来年4月にはコンテナでカンボジア王国へ送られる予定です。



忙しかった11月

東京武蔵国分寺RC 幹事 本多 幸雄

我がクラブは今年度、創立20周年という節目の年です。いろいろと事業が予定されていますが、前半戦の最大の山場が11月でした。まずは6日に毎年参加している国分寺祭り。本年は、恒例の焼き餅に加え陸前高田支援の一環としてTシャツも販売し、おかげさまで完売致しました。翌7日はMGを使った陸前高田市への車両贈呈式に12名で参加。日帰りでしたので、大変ハードな一日になりました。22日は陸前高田支援のチャリティゴルフ大会。当日は朝6:00集合で夜まで。また翌23日も当クラブで10年以上も続く送別少年野球大会が開催され、参加が心配される中、過去最高の26名で決勝戦と表彰式が実施されました。他にも20周年の各委員会が毎晩のように開かれ会員一同燃えております。

私自身、今年度は幹事という大役を仰せつかり不安な船出でしたが、クラブ全員の支えでどうやらここまでやって来ることができました。

尾崎会長、田畑20周年実行委員長をはじめ本当に感謝しております。まだ進行中の事業がいくつかありますし、そして4月16日にはパレスホテル立川にて、記念式典が予定されております。安心できる余裕はまだまだありませんが今の会員の士気が続けば、必ずうまくいくと信じております。お時間があればぜひ私どものクラブを見に来てください。心からお待ちしています。



多摩東グループ 活動通信

東京武蔵府中RCの活動

東京武蔵府中RC 新世代奉仕委員長 鈴木 圭

当クラブの看板事業のひとつでもあります「森林間伐体験学習」についてご紹介させていただきます。

この事業の取り組みは、2007-08年度からの継続事業で、今年度で5回目となります。

将来を担う青少年の健全な育成を目指し、大自然との触れ合いを体験してもらうことにより自然・水資源の大切さを知ってもらう活動です。

この活動は、当クラブの拠点の東京都府中市、その姉妹都市、長野県佐久穂町にはたらきかけをし、「森林間伐体験学習」の活動にご理解をいただき、また、同時にその地区で活動をされています千曲川RCのご理解、ご協力をいただきスタートすることとなりました。その活動が、年々広がりを見せ、前年度は、府中市と佐久穂町の親睦を更に深める、記念植樹式、今年度は、府中市のカーボンオフセット事業の一環で、府中市(里親)と佐久穂町(里子)で「地球環境保全のための連携に関する協定」と「森林整備協定」の調印式を長野県(仲人)・森林間伐体験学習の参加者立会いのもと行われました。

当クラブが、地道に青少年の育成のため、子供たちに大自然に触れてもらい、水や木、花、コケなどの大切さを知ってもらう活動を行ってきました。このことがきっかけで、地域や行政までも動かし、結果、こうした環境保護の事業にまで発展したことは、喜ばしく思います。この「森林間伐体験学習」事業は、前年度より、府中市の予算がつき、市の事業となりましたが、引き続き、当クラブが、事業を市から委託を受け行っております。この事業がどのようなものかを次にご紹介させていただきます。

参加者は小・中学校とその保護者の方が対象。今回は大型バス2台とマイクロバス1台で、一般参加者64名と、お手伝いいただいている農工大の先生、学生と米山奨学生、ロータリアンなど総勢90数名で一泊二日の事業となりました。過去最大です。

この事業の実施日の前に、説明会を兼ねて、事前勉強会を行います。事業内容をまとめたDVDを見たり、ご協力をいただいています農工大の先生・学生の方による、水・木に関する学習会を行います。そして、間伐材で、

自分で名札を作成します。

当日、その名札を下げ、バスに乗り、約4時間弱、やちほレイクに到着し、記念すべき調印式の立会人となりました。みんなで記念撮影したのち、駒出池へ。昼食はバーベキュー。その後、いよいよ森林間伐体験。森林組合の方に説明をうけ、その後の質問コーナーでは、多くの質問が出ました。そして、チェーンソーによる伐採で、樹木が倒れる瞬間を見て、「わあー」と感動する子供たち。今度は、自分で森林組合の方の補助を受けて、実際にチェーンソーを使い、倒れた木を輪切りに。また、森の中に入り、下草や不要な木をのこぎりで撤去。森林組合の方が、チェーンソーで、樹木を削り熊つくりの実演も見ることができました。二日目は、早朝、バードコールを作り、白駒池へ。ジブリ映画に出てきそうな森を見ながら、コケ、水、木について説明を受けながら一周しました。その後、初日昼食をした白駒池に戻り、自分の昼食のおかずの魚をつかみ取り。割り箸を使って、その魚の内臓の取り方を教えてもらい、自分で内臓取って、塩焼きして食べました。最後に、鉄砲水のように湧き出る湧水を採水して、自分で飲んだり、ペットボトルに採水してお土産にしたり。最後の最後でロータリアンからのプレゼントで、ソフトクリームを食べ、佐久穂町で採れた野菜をお土産に持って、大満足で解散となりました。以上が、大まかな流れです。

最後になりますが、参加人数は年々増加傾向にあり、リピーターの方も多く、ほとんどの子供たちが楽しかった、森林は大切、水は大切なアンケート結果がありました。そして、ロータリークラブってどんなところ？が、徐々に子供たち、保護者の方にご理解が広まっていることを実感する事業でもあります。今後も、内容盛りだくさんで大変な事業ですが、関係各所のご協力を得ながら継続事業として、当クラブの大切な活動として成長させていければと思います。



多摩東グループ 活動通信

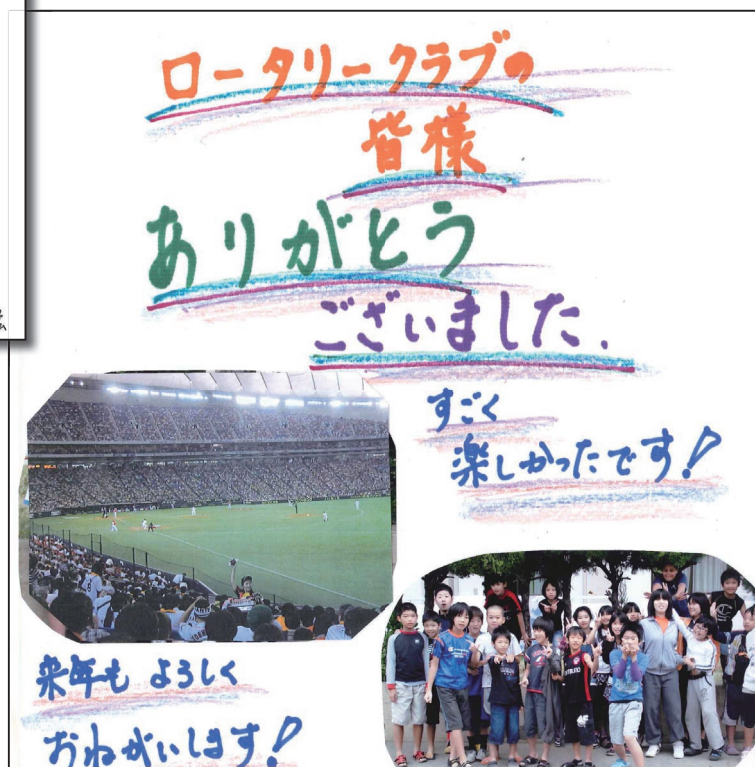
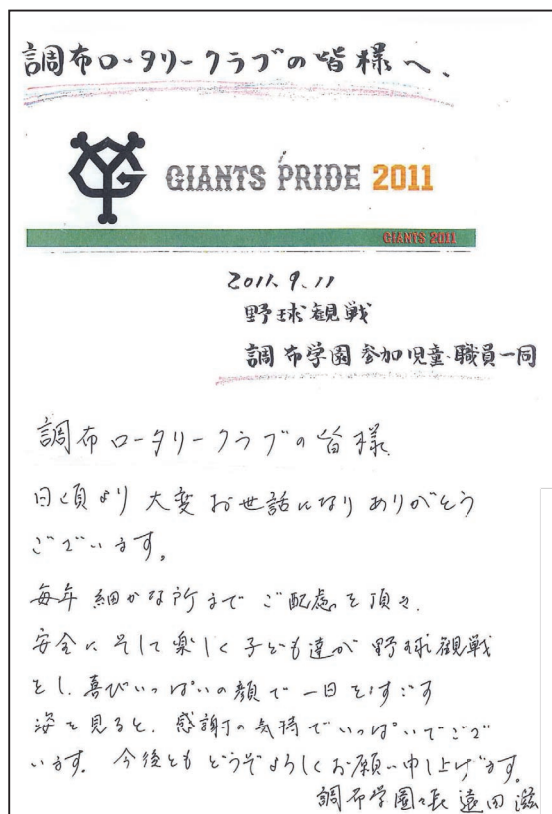
東京調布RCの奉仕活動

東京調布RC 会長 小野 勝昭

「他人の事を思いやり、他人のために尽くす」という「Service above self：超我の奉仕」の意義に添って当クラブの新世代委員会も奉仕活動を実践しています。

常に相手の立場に立って考え、自利と利他のバランスを保つことを心に留め置き、相手を思いやる心を持って日常生活を過ごすことがロータリーの人道的奉仕活動の理念に適合すると私は考えています。そして奉仕の理念を実践する場合は個人で奉仕活動をするの方が集団で活動するよりも奉仕活動を受ける立場の人々の心が良く理解でき、一層心が通い合えんと考えています。

当クラブにも、個人で奉仕活動を行っている会員はたくさんいます。代表的なのが、少年野球やサッカー、水泳等運動競技の支援ですが、当クラブの門馬会員と東京調布むらさきロータリー・クラブの後藤会員は、児童養護施設で生活している子供達の支援活動を4年前から行っています。毎年秋に東京ドームへ野球観戦にも連れて行っています。3年前からは当クラブの新世代委員会の活動として行うこととなりました。今年は9月11日の巨人・広島の試合観戦を児童34名、職員5名、当クラブ会員6名の合計45名で行いました。観戦に行った子供達の感想文を預かりました。楽しかった、また見に行きたいと記した内容をほとんどの子供達が書いています。子供達の記した感想文を読むことで彼らの喜びを知ることができます。今年もまた素晴らしい奉仕活動が出来たことを会員として大いに喜んでいきます。



奉仕プログラム委員会 活動通信

素晴らしいRYLA — ロータリー青少年指導者養成プログラム —

RYLA委員会 委員長 八幡 恵介（東京中央RC）

第2750地区では2004年に第1回RYLAセミナーを開催して以来、毎年9月半ばの3連休を使って府中市生涯学習センターで2泊3日の合宿形式でほぼ同じフォーマットのセミナーを実施してきました。第1回は高校生対象だったので、現在の形が定着したのは第2回からといえます。7月1日に新年度がスラーとしてからではとても間に合わないので、RYLA委員会は前年度からセミナーの準備と参加者の募集を開始します。センターの宿泊施設の最大が36名なので、これを定員としています。

セミナーのプログラムは基調講演、奉仕の現場からの報告、慶應義塾大学大学院の教授によるリーダーシップの講義と分科会形式の討論、体を動かしながら、コーチングの手法によるリーダーシップ実技、テーマを決めた小グループの分科会討議、各グループによる成果発表と一人一人の感想発表、そして最後にガバナーからの修了証授与という中身の濃い3日間となっています。修了証を授与されるとライラリアン(RYLarian)の称号を名乗ることができます。地区委員会ではこのセミナーに使われる経費と時間は「ロータリーの未来への投資」と位置づけ、ロータリアン自身が投資の成果が高いものとなるよう、懸命に企画し、セミナー中は受講生とともに施設に泊まりこんで支援に当たります。

参加資格は20歳以上、30歳未満の男女で、学生、社会人、ロータリーファミリー、一般を問いません。地区委員会では各クラブのロータリアン経営になる企業の社員や子弟からの申し込みを勧奨します。参加者は申し込みにあたって、自分の考えるリーダーシップについて小論文を提出することを義務付けられます。定員をオーバーした場合は論文審査と面接が行われる場合があります。これまでの経験ではセミナーを通じて学んだ結果、リーダーシップに関する考え方が大きく変わった、との感想が寄せられています。ライラリアンは1カ月以内にセミナー受講の報告書を提出することを義務付けられます。地区委員会はガバナーのご挨拶、RYLA委員長の謝辞、スポンサークラブへのお礼の言葉をそえて、これらの報告書を冊子にまとめて印刷し、ライラリアンはもとより、地区内各クラブに配布したり、ロータリアンの参加するセミナーや勉強会でも配布したりと、RYLAの広報に使っています。

さはさりながら、地区におけるRYLAの認知度はまだまだ低く、その名称はロータリアンの間に浸透しているとは言えません。セミナーに参加したライラリアンたちは心から感激した、と言ってくれますし、セミナーを見学したロータリアンたちも素晴らしいプログラムだ、と言ってくれます。RYLA委員会はライラリアンたちがこの感激を一生忘れず、いつかはロータリークラブの扉を叩いてくれることを祈って活動を続けています。RYLAをさらに浸透させるために、委員会では委員による卓話の出前を承ります。新世代月間は9月ですが、月間に限らず卓話を申し付けていただければ、委員会の誰かがクラブの例会にうかがってRYLAの素晴らしさを熱い心で語り、多くのロータリアンにその素晴らしさを感じていただきたいて共鳴していただくべく待機しています。

なお、ガバナー月信のスペースをお借りしてのお知らせですが、ライラリアン(RYLarian)を対象にした勉強会を開催します。ロータリアンにもRYLAをご理解いただくためにご参加を勧奨しています。今年度、来年度の新世代関係委員長様にはぜひご参加をお願いします。1月14日15時から「カスピタ！新橋」で開催します。詳細は各クラブにお知らせしてあります。地図は<http://r.gnavi.co.jp/g344100/map/>でご覧いただけます。



2009年9月開催のセミナー参加者（久邇ガバナー、下吹越 RYLA 委員長とともに）

広報委員会 活動通信

広報委員会の活動

広報委員会 委員長 岡 常吉（東京日本橋RC）

新年明けましておめでとうございます。広報委員会と致しましても、今年も引き続き「ガンバロー日本。ガンバロー 2750 地区。」という意気込みで取り組んで参りたいと決意を新たにしております。今後ともご支援ご指導の程何卒宜しくお願い申し上げます。

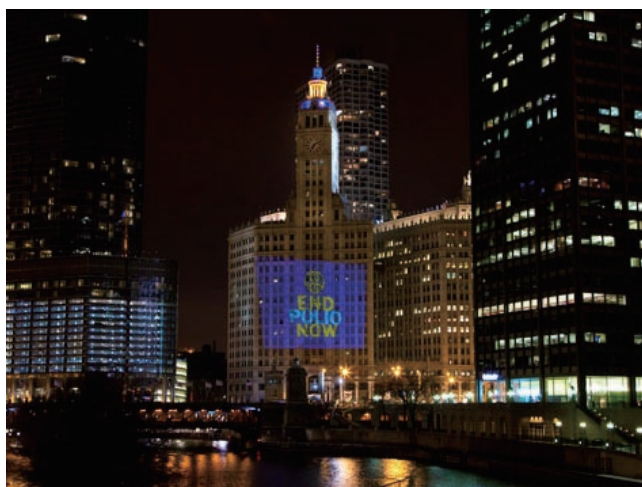
さて、RIが1985年にポリオ撲滅活動に着手し、すべての子供達に「ポリオのない世界」を約束してから、20年以上の歳月が流れました。そして、その目標達成がすぐ目の前にあることは既にご存知であると思います。しかしながら、アフガニスタン・インド・ナイジェリア・パキスタンにはまだ根強く残っているとのこと。そこで、ロータリーとビル・アンド・メリнда・ゲイツ財団が協力し、これらの国々の予防接種の支援や拡大阻止に動いております。ビル・ゲイツは「この活動を完遂するだけの粘り強さがあれば、私たちは必ずポリオを撲滅できる」と言っています。まさに「最後の戦い」に際して、我々も協力を惜しんでいいはずはありません。



平成24年2月20日 18:00～「END POLIO」キャンペーンとして、六本木ヒルズ 蜘蛛の前広場にて国や都、港区などを招待し、子供達の音楽イベントなどでポリオ撲滅ムードを更に高める式典を開催致します。また六本木ヒルズに映像を投影するなど、マスメディアや都民の方々へも広く発信していけるようなイベントとなるようです。六本木ロータリークラブが中心となり、現在準備に追われているとのことですので、我々広報委員会と致しましても、マスメディアへの対応等でできる限りお手伝いさせて頂きたいと考えております。各クラブへも協力要請などあると思いますが、是非ともお力添えをお願いしたいと思ひます。

東京マラソン給水ボランティアにつきましても、今年2月26日には、多くのローターアクト・インターアクトの皆さんにご参加頂いて、ロータリー活動に縦の繋がりを持たせていきたいと考えております。現在72名の参加申し込みがございます。ロータリー中心の活動から若い力を活用する未来型の活動へと深化させることができるように務めて参ります。

微力ではございますが、我々の活動が第2750地区の皆様にとって少しでもお役に立てるよう努力して参る所存でございます。ご協力の程重ねてお願い申し上げます。



米山記念奨学委員会 活動通信

米山記念奨学委員会 活動通信

米山記念奨学委員会 委員長 松本 啓祐（東京八王子RC）

新しい発見 — 論語の場合

韓非子には魅了されたが、孔子の論語はあまり好きではなかった。修身といったことへの反発もあったのである。だが、ふと目にした論語の一節、「寡なきを憂えずして等しからざるを憂う」によって。論語の読み方が変わった。革命家の言辭とともとれるこの言葉を、高橋和巳が、ロシアのテロリストを論ずる際に引用していたことを後で知った。

新しい発見 — ロータリーの場合

論語に言う、「朋あり遠方より来る、亦楽しからずや」と。12月3日にホテルニューオータニで行われた冬の米山懇親パーティーでこの言葉を思い出した。米山学友委員会と東京米山友愛クラブが企画実施にあたり、各国からの奨学生、学友、ロータリアンが一堂に会し、友誼を深めた。「新しい葡萄酒が手から手にと回された(ゲオルク・トラークル)」のである。片倉ガバナーはPBにお出かけのためご欠席であったが、佐久間ガバナー・エレクトにご出席をいただいた。佐久間ガバナー・エレクトは、各テーブルを回られ、学生・学友・ロータリアンと親しく懇談。「上を向いて歩こう」の合唱も楽しく、有意義な催しとなったことを感謝したい。

10月には東京米山友愛ロータリークラブで卓話をする機会に恵まれた。林芳会長をはじめとして、米山学友を中心に結成されたクラブである。様々な国から若い会員が集い、例会の進め方も既成の概念にとらわれずユニークであり、ロータリーの新たな可能性を示唆するといえるだろう。清新の気にあふれ国際的な交流の場となっていた。卓話に行って、逆に教えられたような気がする。今、ロータリーに求められているのは、新しい世代との真に実りある交流なのではないか。交流の成果を享受するのは、新旧両方の世代である。

米山記念奨学生の選考

「青年を制する者は未来を制す」、この自信にあふれたスローガンはナチスドイツのものである。ナチスは、その政治的方向性によって、戦争と強制収容所の悲劇へと青年を駆り立てたが、ロータリーにはその心配はないだろう。青年の未来とロータリーの未来を重ね合わせることが、ロータリーの今後を左右するといっても過言ではない。

12月14日に、当地区の米山奨学生選考試験がプリンスさくらタワー東京で行われ、合格者が決まった。優秀な応募者が多く、甲乙つけがたかったことを報告しなければならない。寄付の落ち込みにより、合格者数が減っていることは残念であるが、次代を担う米山奨学生たちへの期待は大きい。

東京再発見

3月3日に東京ツアーを実施する。奨学生とロータリアンが、はとバスに乗り一緒に東京を再発見しようという試みである。いつもとは違った東京の姿が見えてくるかも知れない。忙しい時期ではあるが、多数の方の参加を期待したい。



米山功労者ご紹介

ご協力を感謝いたします

米山功労者

寺本 明男君	東京日本橋東	2011.11.4	6
竹川 茂彦君	東京立川	2011.11.7	7
大河原 啓右君	東京田園調布	2011.11.8	2
田中 輝次君	東京田園調布	2011.11.8	2
島田 一郎君	東京世田谷南	2011.11.9	5
石井 堂陽君	東京調布むらさき	2011.11.15	2
石原 宏君	東京調布むらさき	2011.11.15	4
柏谷 啓之君	東京調布むらさき	2011.11.15	7
小林 朗男君	東京調布むらさき	2011.11.15	3
後藤 秀文君	東京調布むらさき	2011.11.15	2
林 貞夫君	東京調布むらさき	2011.11.15	4
星野 洋輝君	東京調布むらさき	2011.11.15	1
吉田 勝重君	東京調布むらさき	2011.11.15	1
大谷 信義君	東京銀座	2011.11.17	5
神戸 涼次君	東京八王子	2011.11.17	2
末吉 傳男君	東京町田・中	2011.11.17	6
新田 重彦君	東京調布	2011.11.18	2
川原 鉄郎君	東京調布	2011.11.18	3
佐々木 賢秀君	東京調布	2011.11.18	1
清水 武司君	東京調布	2011.11.18	3
堀 龍之介君	東京調布	2011.11.18	3
望月 排次君	東京日本橋	2011.11.21	7
高島 勝宏君	東京世田谷南	2011.11.24	1
萩原 道雄君	東京世田谷南	2011.11.24	10
藤堂 敦君	東京立川	2011.11.24	5
小林 保清君	東京日本橋西	2011.11.28	7
田中 喜雄君	東京西南	2011.11.30	4
星 季一郎君	東京西南	2011.11.30	4
山崎 源三君	東京西南	2011.11.30	4

ポール・ハリス・フェローご紹介

◎はマルチプル
ご協力を感謝いたします

◎ 市川 伊三夫君	東京銀座	11月
◎ 岩瀬 敬一郎君	東京銀座	11月
◎ 岡崎 真雄君	東京銀座	11月
◎ 大谷 信義君	東京銀座	11月
◎ 関根 正悟君	東京銀座	11月
◎ 吉本 喬美君	東京銀座	11月
◎ 早川 英雄君	東京日本橋	11月
◎ 黒瀬 巖君	東京日本橋	11月
◎ 森口 隆宏君	東京日本橋	11月
◎ 山元 春三君	東京日本橋	11月
◎ 平野 熙幸君	東京日本橋東	11月
◎ 井上 久嘉君	東京中央	11月
◎ 伊東 昭君	東京中央	11月
◎ 小川 健三君	東京中央	11月
◎ 太田 嘉正君	東京中央	11月
◎ 坂下 章君	東京中央	11月
◎ 羽廣 元和君	東京大崎	11月
◎ 今泉 善雄君	東京西	11月
◎ 藤宮 和三郎君	東京西南	11月
◎ 北野 晃司君	東京渋谷	11月
◎ 西澤 宗英君	東京渋谷	11月
◎ 島田 節子君	東京渋谷	11月
◎ 塩野 哲志君	東京渋谷	11月
◎ 本田 正信君	東京世田谷	11月
◎ 北原 邦雄君	東京世田谷	11月
◎ 村田 英憲君	東京世田谷	11月
◎ 萩原 道雄君	東京世田谷南	11月
◎ 川上 直義君	東京世田谷南	11月
◎ 古木 謙三君	東京世田谷南	11月
◎ 田中 則行君	東京世田谷南	11月
◎ 飯塚 孝君	東京山の手	11月
◎ 増田 静一君	東京山の手	11月
◎ 笠井 浩君	東京町田東	11月
◎ 高橋 正典君	東京国分寺	11月
◎ 木野 常男君	東京昭島	11月
◎ 尾西 文郎君	東京昭島	11月
◎ 込山 雄茂君	東京武蔵国分寺	11月

新ベネファクターご紹介

ご協力を感謝いたします

永山 治君	東京銀座	11月
中村 純君	東京西	11月
菊池 吉純君	東京城西	11月
星野 浩一君	東京渋谷	11月
落合 孝美君	東京町田サルビア	11月
鈴木 秀男君	東京八王子北	11月
濱仲 幸弘君	東京国分寺	11月
山賀 浩之君	東京武蔵府中	11月

日本事務局 財団室よりのご伝言：

現在、ロータリー財団ではデータベースの見直しをしており、一部の寄付のデータがまだ入っていないため、今回のリストは暫定のものとなりますので、ご了承ください。

文庫通信 (291号)

ロータリー
文庫

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

- ◎「米山記念館と東京ロータリークラブの協力関係」
宮本四郎 2011 2p (米山梅吉記念館館報)
- ◎「親睦Fellowshipについて」
本田博己 2011 2p (ロータリーの力)
- ◎「歴史に残る1ページ：『ロータリー年度』の由来」
RI 2011 1p (国際ロータリー・ニュース)
- ◎「歴史に残る1ページ：研究グループ交換のはじまり」
RI 2011 2p (国際ロータリー・ニュース)
- ◎「財団が『ロータリー日本・太平洋諸島地震災害復興基金』を設立」
RI 2011 2p (国際ロータリー・ニュース)
- ◎「今、ロータリー・ルネッサンスのとき」
関場慶博 2011 10p (D. 2530地区大会記録)
- ◎「ロータリーの職業奉仕と日本の伝統的実業倫理」
安平和彦 2011 12p (D. 2500地区大会報告書)
- ◎「ロータリーの奉仕活動について」
前川昭一 2011 5p (D. 2720地区大会記録)
- ◎「歴史に残る1ページ：会場監督」
RI 2011 1p (国際ロータリー・ニュース)

上記申込先：ロータリー文庫

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506

http://www.rotary-bunko.gr.jp

開館

午前10時～午後5時

休館

土・日・祝祭日

深く哀悼の意を表し御冥福を祈ります



堀越 克明 (東京西南RC)

2011年11月13日逝去 (享年92歳)
1983年5月10日入会
1983-84年 初代クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター、米山功労者



藤波 襄二 (東京杉並RC)

2011年11月25日逝去 (享年82歳)
1990年4月12日入会
1997-98年 クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター、米山功労者



榎本 博行 (東京八王子南RC)

2011年11月27日逝去 (享年79歳)
1986年2月12日入会 チャーターメンバー
1996-97年 クラブ会長
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター、米山功労者 (マルチプル)



小川 重行 (東京国分寺RC)

2011年12月19日逝去 (享年87歳)
1966年5月17日入会 チャーターメンバー
1975-76年 第10代クラブ会長
1980-81年 分区代理
ポール・ハリス・フェロー
ベネファクター、米山功労者 (マルチプル)

★国際ロータリー第2750地区出席報告（11月分）★ District 2750 Membership Attendance Report November 2011

区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数			区分	クラブ名	例会	出席率	会 員 数		
				11年7月1日	11年11月末	増減					11年7月1日	11年11月末	増減
千代田グループ	東 京 南	3	71.75	181	181	0	多摩南グループ	東 京 八 王 子	3	94.00	54	56	2
	東 京 芝	4	91.93	92	92	0		東 京 町 田	4	82.67	54	57	3
	東 京 新 橋	4	76.29	51	54	3		東 京 日 野	4	82.64	34	32	-2
	東 京 赤 坂	4	78.00	43	43	0		東 京 八 王 子 西	4	87.17	69	75	6
	東 京 み な と	4	88.18	46	46	0		東 京 町 田 ・ 中	4	73.26	36	36	0
	東 京レインボー	3	73.96	32	32	0		東 京 八 王 子 東	4	83.33	20	21	1
銀座・日本橋グループ	東 京 麻 布	4	71.10	20	20	0	東 京 八 王 子 南	4	83.19	58	58	0	
	東 京 銀 座	4	79.75	157	161	4	東京町田サルビア	4	86.37	22	21	-1	
	東 京 日 本 橋	4	77.49	175	182	7	東 京 飛 火 野	5	71.85	28	27	-1	
	東 京 築 地	3	82.09	69	69	0	東 京 町 田 東	3	76.00	25	25	0	
	東 京 日 本 橋 東	4	75.80	47	45	-2	東 京 八 王 子 北	3	73.50	37	39	2	
	東 京 中 央	3	88.20	216	216	0	東 京 立 川	4	96.99	98	99	1	
京浜グループ	東 京 日 本 橋 西	4	90.62	41	41	0	多摩中グループ	東 京 小 金 井	3	93.50	33	32	-1
	東 京 銀 座 新	4	82.61	68	68	0		東 京 国 分 寺	5	89.70	41	42	1
	東京シティ日本橋	4	76.60	47	45	-2		東 京 三 鷹	5	76.60	37	37	0
	東 京 中 央 新	4	62.75	40	41	1		東 京 昭 島	3	72.12	46	49	3
	東 京 羽 田	4	74.75	42	43	1		東 京 国 立	4	96.16	49	50	1
	東 京 品 川	3	84.67	56	57	1		東京立川こぶし	5	91.27	81	81	0
山の手東グループ	東 京 大 森	3	90.52	46	46	0	多摩東グループ	東 京 井 の 頭	4	90.90	21	22	1
	東 京 品 川 中 央	4	83.29	55	55	0		東京昭島中央	4	80.00	41	43	2
	東 京 大 井	5	72.94	18	18	0		東京武蔵国分寺	4	90.00	47	49	2
	東 京 田 園 調 布	4	75.99	48	49	1		東京小金井さくら	4	76.09	23	23	0
	東 京 港 南	4	79.41	17	18	1		東京国立白うめ	4	85.11	22	23	1
	東 京 大 崎	3	87.88	35	33	-2		東 京 府 中	4	71.37	60	61	1
	東 京 蒲 田	4	89.33	62	60	-2		東 京 調 布	4	83.90	60	63	3
	東 京 京 浜	3	81.81	21	22	1		東 京 多 摩	5	84.61	25	26	1
	東京田園調布緑	5	84.67	26	26	0		東 京 狛 江	4	89.75	29	29	0
	東京マリーナ	5	80.00	13	13	0		東 京 稲 城	4	76.99	27	30	3
	東 京 白 金	3	80.50	25	28	3		東京武蔵府中	4	78.97	53	55	2
	東 京 高 輪	3	76.25	22	23	1		東京たまがわ	4	78.50	25	25	0
山の手西グループ	東 京 西	3	83.86	154	155	1	バングラデシュ・パレスチナグループ	東京多摩グリーン	5	77.12	34	34	0
	東 京 城 西	3	67.61	73	72	-1		東京調布むらさき	3	83.33	78	81	3
	東 京 西 南	4	89.82	49	49	0		東 京 i シ テ イ	3	76.00	25	22	-3
	東 京 原 宿	4	81.52	23	23	0		Guam			75	74	-1
	東 京 杉 並	3	75.69	39	37	-2		Saipan			43	45	2
	東 京 神 宮	4	75.00	28	29	1		Tumon Bay			86	82	-4
山の手西グループ	東 京 恵 比 寿	4	82.70	90	95	5	千代田グループ 銀座・日本橋グループ 京 浜 グループ 山の手東グループ 山の手西グループ	Northern Guam			34	34	0
	東 京 広 尾	3	77.77	18	18	0		Pohnpei			23	23	0
	東 京 渋谷	4	71.09	32	34	2		Palau			20	18	-2
	東 京 六 本 木	4	79.00	50	52	2		Guam-Sunrise			30	31	1
	東京世田谷	3	85.31	57	59	2		Truk Lagoon			11	15	4
	東 京 目 黒	4	75.64	43	44	1		国内84クラブ計			4,199	4,272	73
	東 京 成 城	5	74.17	21	21	0		地区92クラブ計			4,521	4,594	73
	東京世田谷南	4	72.00	95	97	2		千代田グループ			78.74	多摩南グループ	81.27
	東 京 城 南	3	54.00	31	33	2		銀座・日本橋グループ			79.55	多摩中グループ	86.54
	東 京 山 の 手	3	79.36	61	63	2		京 浜 グループ			81.57	多摩東グループ	80.05
	東 京 成 城 新	3	78.62	38	39	1		山の手東グループ			78.41	P B グループ	
	東 京 青 山	4	71.40	29	31	2		山の手西グループ			74.72	平 均 出 席 率	80.33 (PBGを除く)
東京自由が丘	3	80.19	19	20	1								
東京世田谷中央	4	80.98	16	19	3								
東 京 米 山 友 愛	5	70.30	30	32	2								

編集後記

新年を迎えました…。今年もどうぞ宜しくお願い致します。1月になり片倉年度も折り返し地点に到達しました。ガバナー月信・IT委員会は、下半期も引き続き、皆さんの活動のお役に立てますよう旬の情報を発信してまいります。今年も皆さんのご購読と、原稿のご協力をどうぞ宜しくお願い致します。

昨年は東日本大震災が発生し、私達にとって一生涯忘れることのできない年になりました。今年も昨年同様、皆さんの復興支援の活動によって被災された方々が安心して暮らせる生活が戻るよう、そして少しでも笑顔を取り戻せるよう、心より願っております。

2011-12年度ガバナー月信・IT委員会 委員 永田 有利恵 (東京中央新RC)

国際ロータリー第2750地区 2011-12年 ガバナー 片倉 章雄

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F 電話 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

Rotary International District 2750 2011-12 Governor Akio Katakura

KOKURYU SHIBA-KOEN BLDG. 3F, 2-6-15 SHIBA-KOEN, MINATO-KU, TOKYO, JAPAN 105-0011 PHONE 03-3436-2750 FAX 03-5472-2750

発行：ガバナー 片倉 章雄(2011-12) © Akio Katakura 2012

編集・制作：ガバナー月信・IT委員会 委員長 望月 耕次 副委員長 木村 清信 副委員長 河村 勝久 副委員長 竹平 時彦
Andrew WONG 田中 廣 山見 真弘 永田 有利恵 堀口 昇治 石黒 重徳 織田 ゆり子 羽田 伊助 森本 行俊 清野 修一
浅見 省三 坂場 一隆 Brian McDERMOTT

ホームページアドレス

<http://www.ri2750.org/>